

和泉川観測観察 水位・水質・生物

2022年2月

東山の水辺

日	曜	時刻	水位 cm	流速 目視	流量 m <sup>3</sup> /分	雨量 mm	気温 °C	水温 °C	PH	電導率 マイクロS	その他(生物、透視度等)					
											ア	オ	カ	ザ	ヌ	その他
1	火	17:00	14.4				7.8	6.3	7.2	240	3		3			カワセミ1 キセキレイ1 シジュウカラ2
2	水	16:50	13.8				5.8	6.1	7.3	230	3		16	1	3	カワセミ1 ダイサギ1 シジュウカラ1
3	木	17:05	13.6				6.1	7.0	7.4	230			1		2	ダイサギ1 ヤマガラ1 シジュウカラ1
4	金	17:05	13.1				7.0	6.4	7.4	240	2		14		2	ダイサギ1
5	土	17:05	12.9				3.6	3.7	7.3	210	3		3		2	(水面氷結) コサギ1
6	日	16:55	12.3				4.1	4.1	7.4	210	2		2		3	(水面氷結)
7	月	16:50	12.1				6.3	7.3	7.5	270				1	6	(水面氷結) ジョウビタキ1 ダイサギ1 アオサギ1
8	火	16:50	10.0				7.2	7.7	7.5	240			14		8	ニンギョウトビゲラ1 ダイサギ1 コサギ1
9	水	17:10	7.5				7.8	8.3	7.4	240			6		12	カワニナ1 カワウ1
10	木	17:00	41.1	泥流		22	1.6	3.3	7.1	75					—	(みぞれ) ダイサギ1
11	金	16:30	17.6	薄泥流		13	5.7	8.1	7.1	140	5		3	1	14	コサギ1
12	土	17:00	14.8				6.5	7.8	7.2	180	4		6		31	カワセミ1 カワウ1 カルガモ2
13	日	17:10	35.0	泥流		13	4.7	5.8	7.1	71					—	ツグミ1 メジロ1 ヒヨドリ1
14	月	17:15	18.0	薄泥流		16	4.8	6.1	7.0	120			1	1	45	カワウ1 シジュウカラ2
15	火	17:10	16.6				10.8	8.8	6.9	200	4		11		17	カルガモ2 ツグミ1 メジロ1 ムクドリ群 ヒヨドリ2
16	水	16:45	16.5	薄白濁			9.8	9.0	7.0	210	2		5	1	21	(午前 白濁) ダイサギ1 シジュウカラ2
17	木	17:20	15.6				5.6	6.2	7.2	240	4		11	1	13	タモロコ1 ダイサギ1
18	金	16:50	15.5				7.6	7.7	7.3	200					5	ニンギョウトビゲラ1 シジュウカラ2
19	土	17:00	15.2			0	7.6	6.7	6.9	200	3		1		1	モツゴ1 ヒヨドリ2 シジュウカラ2
20	日	16:55	18.0			22	6.2	7.6	7.0	75	17		5	2	21	モツゴ1
21	月	16:55	17.0				7.2	7.2	7.0	160	3		6		20	シジュウカラ2
22	火	17:20	16.7	薄白濁			5.8	6.2	6.9	240	2		1		3	ヒヨドリ2 シジュウカラ3
23	水	17:10	15.2	白濁			5.8	7.7	6.9	240	1		13		3	ニンギョウトビゲラ1 カワセミ1 カルガモ2
24	木	17:00	15.0				8.1	8.7	7.0	240			4		2	カワセミ1 ヒヨドリ1 シジュウカラ1
25	金	17:00	15.3	褐色濁			9.6	9.1	7.0	260			3		14	ニンギョウトビゲラ1
26	土	17:15	14.6				11.7	10.2	7.1	210	2			1	9	カワセミ1 ツグミ1 シジュウカラ1
27	日	17:30	15.5				10.9	10.9	7.0	230			7	1	10	シロタニカワカゲロウ1 ハシボソガラス3
28	月	17:10	14.7				12.4	11.4	7.2	200			7	1	11	ニンギョウトビゲラ1 ヒヨドリ1 シジュウカラ1
計			16.3	良0		86	7.1	7.3	7.2	200	60	0	143	11	278	モツゴ2 タモロコ1 カワニナ1

特記事項

ニンギョウトビゲラ5 シロタニカワカゲロウ1

纏まった降雨がなく平均水位は16.3cmと低かったが、干上がりには至らなかった。降雨なし水位上昇が2回あった。源流域(瀬谷市民の森及び旧米軍基地内)の水量が少なくなると、他の要因による水位変化の影響が目立つようになる。開発によって供給される水量が低下しないことを望む。白濁が3回もあり、褐色濁が初めて観察された。より強い対策が必要であろう。